

中央区

平成28年(2016年)1月

まちづくり会議通信

◆このリーフレットは、中央区のまちづくりに関する様々な課題や情報を、地域の皆さまと共有するためにお届けいたします。

第15号

1【地域防災部会】平成27年度第1回部会を開催しました

10月15日(木)に平成27年度中央区まちづくり会議第1回地域防災部会を開催しました。

基調講演

安田睦子先生(インタラクシオン研究所)より、「災害時における避難所の現状と課題」についてご講演いただき、それぞれの課題について、避難所運営で留意することや避難所の運営管理における対策例をお示しいただきました。

<掲載写真:インタラクシオン研究所提供>



講師:安田睦子氏



東日本大震災状況



避難所の状況

現状に対する対策例

大規模災害時における避難所の現状(例)

- ・24時間の集団生活によるストレス。
- ・トイレが男女別ではない。
- ・希望する救援物資が届かない。
- ・着替えや授乳スペースがない。
- ・常時飲む薬や治療を受けられず持病が悪化する。
- ・介護の必要な家族への介護が難しい。
- ・衛生環境がよくないため風邪が流行ったり、体調を崩す人が多い。
- ・子どもの泣き声や騒ぐ声で、トラブルが起きる。
- ・男性からのセクハラや性暴力が起きやすい。
- ・女性や障がい者、高齢者などは要望を出しづらい。

避難所の運営管理(対策例)

【避難所の開設】

- ・授乳室や男女別トイレ、更衣室、休養スペース、物干し場、要介護者の家族が使える場所を設ける。
- ・間仕切りの活用等でプライバシーや安全・安心の確保の対策をする。
- ・仮設トイレは男女別にし、子どもや女性が昼夜安心して使える所に設置。

【避難所の運営管理】

- ・避難所の管理責任者には、男女両方を配置する。
- ・避難所の運営組織には男女が参画し、女性役員は3割以上を目標とする。
- ・避難生活のルールづくりには、女性、子ども、若者・高齢者・障がい者等多様な避難者の意見を踏まえる。
- ・避難者名簿は、世帯単位とともに個人単位でも作成し、情報開示や取扱に十分注意する。(DV、ストーカー、児童虐待)

避難所運営体制づくりの取組状況報告

部会出席者へ、昨年度取組を開始した宮の森小学校の取組状況を報告しました。

宮の森小学校避難所運営準備委員会の取組状況

- 1 6月5日の会議で避難所運営マニュアルを完成

この日秋元市長も会議に参加しました!



6月5日秋元市長と意見交換

- 秋元市長(要旨)
地域の皆さまが自主的に防災に取り組まれていることに対し、行政も一緒にやらせていただきたい。
- 参加者(抜粋)
みんなで頑張ってマニュアルができた。いざというときにこれを活かして、犠牲者の出ないように取り組む。

- 2 8月10日、9月11日に避難所運営マニュアルを用いた訓練内容の検討会議を開催

- 3 10月10日に連町とともに避難所運営訓練を実施(地域住民約110人参加)



参加者の感想

- 運営本部は入口付近よりも入ってすぐ目につくステージ上にあつた方がよい
- 感染症者用のトイレは一般トイレとは分ける必要があることがわかった。
- ペットの飼い方は口頭よりも紙に書いて掲示する方がよい



意見等を検討し、
運営マニュアルを改善する

2【地域防災関連】避難所運営検討会を開催しました

11月5日(木)に、今年度避難所運営体制づくりに取組んでいる小学校2校(三角山小学校、緑丘小学校)の避難所検討会を対象に、合同研修会を開催しました。

基調講演として、安田睦子先生(インタラクティブ研究所)より、「女性の視点を取り入れた避難場所運営」についてご講演いただきました。

その後、各学校の図面を使用して、HUG(ハグ; 避難所運営ゲーム)を実施しました。



3【市電部会】 現地視察会が行われました



くの人に来てもらうためにはどうすればよいか」というテーマの下、実際に沿線地域を散策しながら意見交換を行う目的で実施されました。

参加者はすすきの電停から新型低床車両「ポラリス」に乗車。電車事業所前電停でいったん降車し、同事業所職員からポラリスやササウ電車の説明を受け、事業所内を見学しました。その後、再度ポラリスで出発した参加者は、行啓通電停で降車し、行啓通商店街から中島中学校までの道のりを散策しました。



生からは「市電から見える店舗に装飾をして、車窓からの眺めそのものを観光スポットにすれば観光客などの利用が増えるのでは」「ポラリスの乗車客へ、商店街での買い物に使えるサービス券を発行するなどの特典があるといいと思う」などといった、中学生ならではのアイデアが相次いで発表されました。

10月10日(土)、市電沿線の行啓通商店街において「中央区まちづくり会議市電部会視察会ーポラリスでGO!行啓通商店街ウォッチ!ー」が開催され、中島中学校および柏中学校の生徒、中央区の連合町内会役員や中央区職員など約33人が参加しました。

この視察会は、昨年に引き続き2回目の実施。今回は、ループ化により、より便利になることが期待される市電に乗り、「沿線商店街」へ多



散策では、昭和初期に建てられた店舗などが残る街並みを眺めながら、山鼻屯田記念会館や誓願寺を見学したり、行啓通商店街振興組合の佐藤國夫(さとう・くにお)専務理事から商店街の歴史にまつわる話を聞きながら、約1.3キロメートルのコースを歩きました。

最後は中島中学校で、市電や商店街の活性化について意見交換を行いました。参加した中学



4【市電部会】第2回部会を開催しました



12月8日(火)、中央保健センター2階講堂において「平成27年度中央区まちづくり会議第2回市電部会」が開催され、市電沿線の町内会や市電の会などの市電に関する関係団体、市職員など36人が参加しました。

今年度2回目の開催となったこの日は、高松区長の挨拶のあと、まず、札幌大通まちづくり会社の服部彰治(はっとり・しょうじ)統括部長から資生館小学校5年生の児童らが、各電停の見どころを紹介するポスターやパンフレットを約半年かけて作成した総合学習の実施報告がありました。

また、市民まちづくり局より、ループ化工事の概要とその経緯などについて写真を交えての説明、中央区からは10月10日に行われた中学生による市電視察会の報告が行われました。

そのあと、当部会が来年度で発足3年目を迎える節目として、これまで会議で出た多くの意見を基に市電PR冊子を作成する予定であることから、その内容については、今回、部会で初めての試みとして、参加者がグループに分かれてのワークショップ形式での話し合いが行われました。



各グループからは、市電沿線を観光する際のモデルコースを、スタンプラリーやトイレマップなどとともに掲載する便利帳や、病院やウォーキングルート、スポーツ施設などを紹介する健康マップなど、さまざまなアイデアが飛び出していました。

この冊子は来年度から具体的に検討し、平成29年度までに制作する予定です。



<発行> 中央区まちづくり会議事務局(中央区市民部総務企画課)

〒060-8612 中央区南3条西11丁目中央区役所 TEL011-205-3205 FAX011-261-2991